

私たちは真心の医療と福祉を通じて、地域の人々に貢献します

祐生会の基本方針

私たちは地域に密着し安心して医療・福祉を受けられる病院・福祉施設を目指します。そのため次に掲げる項目に取り組めます。

1. 地域の人々から信頼され安全で質の高い医療体制の構築と真心の医療サービスの提供
2. 地域連携の充実による地域完結型の医療サービスの提供
3. 高齢化時代に対応するための福祉施設の充実と真心の福祉サービスの提供
4. 予防医療に対する健診・指導の充実と地域健康教育活動の充実
5. 受診される皆様の権利の尊重



当院での 肺癌治療について

内科部長 伊藤 力



日本人の死亡原因第一位の悪性新生物(いわゆる「癌」)の中でも、原発性肺癌(以下、単に肺癌)は近年、年間死亡者数が最多です。肺癌の診療に、みどりヶ丘病院でも今年から積極的に関わっていく方向になりました。肺癌診療の当院での現状をお話します。まず、肺癌の発見から診断確定に至る手順は次のようになります。

①CTやレントゲン等での肺癌を疑わせる陰影の判明(画像診断)存在診断
②最終的な病名の確定(確定診断)の為に、陰影部分からの癌の細胞や組織の証明(病理診断)確定診断

現在当院は、胸部レントゲン

(1) (3)の内から1〜3個が選

ン・CT・MRI等の画像検査の設備が揃い、肺癌の疑いや発見(上記①)が可能です。また、②の確定診断の検査として、胸水検査・気管支鏡検査等が可能です。これらにより、多くの肺癌の診断の確定が可能です。

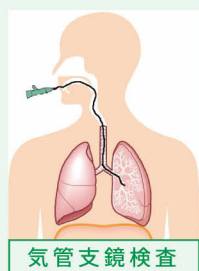
進行段階(病期)によって治療の内容・方針が異なる為、診断確定の次には、進行段階の決定(病期診断)が必要になります。各転移巣(リンパ節・脳・骨)の検査方法としては、当院で可能な上記画像検査以外に、PET検査(癌の病巣発見のための全身画像診断)があり、PET検査については他院への依頼になります。

一般的には、治療として、(1)手術(2)放射線治療(3)全身化学療法等が行われます。病期、肺癌の種類、全身状態等に依りて

択されます。また、これら積極治療を選択せずに、経過観察や、支持療法(症状を和らげる治療)のみとするケースもあります。

当院で、化学療法を受けている患者様もいらっしゃいます。肺の手術、放射線治療の優先度の高い方、また、診断確定のために、気管支鏡検査等以外の検査が必要な方は他院への紹介を行います。当院に罹られる方には、病状だけでなく生活スタイル等も考慮して診療を進めます。今後、診療の幅を広げ、発展させていきますので、宜しくお願い致します。

②



気管支鏡検査

- 気管支鏡検査・胸水の採取
→細胞・組織の証明(病理診断)=確定診断
- 造影MRI(脳)、胸部腹部CT、全身PET
→病巣の拡がり具合の診断=病期診断

登録医紹介

中村整形外科
中村 昭文 院長



診察を始めた経緯

平成13年に関西医科大学を卒業し、整形外科の勤務医をしていました。当院は、昭和46年に父が開業し、平成21年4月より父の跡を引き継ぎ、診療を開始しました。

専門分野について

整形外科一般に外傷の縫合や処置も行っています。資格としては、日本整形外科学会認定専門医、脊椎脊髄病医、リウマチ医及び医学博士を取得しています。

どのような医療を目指されていますか
患者さんに自分の思いをしっかりと話していただき、共に考えながら治療方針を決めています。何の為に

治療を受けているのかを患者さんが理解し、考えて頂くような説明を心がけています。また、限られた設備の中で診療する上で、病院との連携は重要と伝えています。

みどりヶ丘病院への要望

医療ソーシャルワーカーとの連携や相談出来る機会があれば、ぜひ利用したいです。また、ホームページでその日の空床状況が確認でき、手術日程等も分かれば紹介がスムーズに出来ると思います。

中村先生、貴重なお話をありがとうございました。勤務医での経験を基に医療連携を考えられていて、気遣いのある先生の優しいお人柄が印象的でした。今後とも宜しくお願いいたします。



中村整形外科

〒569-0034 高槻市大蔵司2-53-8 TEL 072-687-6796

診療時間

時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	/	○	○	○
16:00~19:00	○	○	/	○	○	/

上記/印、日曜及び祝日は休診です。

地域連携

2012市民の健康フェア
記念講演会

9月2日(日)高槻市現代劇場にて、「2012市民の健康フェア」が開催されました。その記念講演会に、当院理事長の甲斐史敏医師が『ロコモ予防で健康長寿。元気で素敵な明日のために！』との題名で講演を行いました。

「ロコモ」とは、ロコモティブイブ症候群の略で運動器の障害で要介護になる危険性が高い状態をさし、講演ではロコモに関わる疾患や治療法等を分かり易く解説しました。途中、リハビリテーション科の森脇美早医師から

の講義と、ロコモ予防の体操を皆様と一緒にいたしました。皆様、熱心に話に耳を傾けていただき、講演会は盛況に終了いたしました。



看護部

「看護の日」記念行事

看護部 主任
安井香世

ナイチンゲールの生誕日にあわせて、毎年5月12日を「看護の日」として、全国各地で記念行事が開催されています。当院の看護部でも、毎年記念行事を開催しております。

今年第20回を迎え新たな趣向として、管理棟会議室では脳神経外科の渡部琢治医師による「めまい」の講義と、グループホームみどりヶ丘荘管理者の村上宏三氏による「認知症」の講義を行いました。

1階リハビリテーション室では、健康フェアとして、血圧・血管年齢・骨密度測定、入口では職員供出に



よるバザーを行い、その収益金は東日本大震災の義援金として寄付させていただきました。今回の3会場での取り組みは、看護部主催ではありませんが、病院全スタッフの協力が不可欠でした。また、何より地域の皆様のご協力と多くの方々のご参加で、成功に至ったと思っています。

初の試みで、ご迷惑をおかけしたこともありましたが、今後も地域の皆様のお役に立てる医療の提供に努力していきたいと思っています。

チーム医療

みどりヶ丘病院
院内BLSチーム

外来看護師
(ACLS大阪認定インストラクター)
(日本救急医学会認定インストラクター)
林 直美

当院では、日々救急医療に携わっている医療スタッフのBLS(二次救命処置)に対する共通認識と技術の向上、地域住民の方々と講習会を通じての交流を目的に、今年度より院内BLSチームを立ち上げました。

現在は、院内でのBLS研修会及び院外でのBLS、ALS(二次救命処置)コースへの参加を中心に活動しています。生命の危機を伴う患者様に対して、救急蘇生法に自信をもって実践



するためには、科学的根拠に基づいた指針に沿って、正確な知識と技術の習得が望まれます。また、チーム蘇生を習得することも必要となります。

救急蘇生法には、BLSとALSがありBLS(二次救命処置)は一般の方々でも行うことができます。今後は、地域の皆様を対象に、救命処置を必要とされる傷病者の評価方法や、心停止時の的確なBLSの方法、またAEDの使用方法を学習して頂くために、講習会を開催いたします。ご希望の方は、是非ご参加下さい。

教室カレンダー

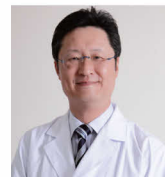
日程	曜日	開始時間	開催内容
10月27日	土曜日	14:00	糖尿病教室 講義「糖尿病の運動療法」
10月27日	土曜日	14:00	心肺蘇生法講習会 人工呼吸・心臓マッサージ・AEDの使い方
11月10日	土曜日	14:00	介護教室 講義「嚥下障害とは」、「食事の介助方法」
11月17日	土曜日	14:00	介護教室 講義「口腔ケアと誤嚥性肺炎について」
11月24日	土曜日	14:00	介護教室 講義「介護保険について」、ねたきり予防体操
12月1日	土曜日	14:00	高脂血症教室 高脂血症の病気の知識、食事・運動療法について

参加ご希望の方は、病院(072-681-5717)までご連絡下さい。受付時間:9:00~16:00 会場は当日受付でご案内いたします。ホームページでも、教室や行事予定を確認していただけます。

院長コラム

高齢社会にむけた急性期医療

院長 新井基弘



日本は高齢社会に進んでいきます。現在、みどりヶ丘病院では65歳以上の患者さんが76%を占めており、団塊の世代の高齢化に伴い、高齢患者がこれまで以上に増加し、医療の高度化と相まって、急性期病院にとって、たいへんな時代を迎えようとしています。

これからの高齢社会の急性期医療は、根幹部分の治療を専門家チームがいかに迅速、確実に行うかにかかっています。その後、これまでの医師、看護師中心のマンパワーの少ない病棟ではなく、医師、看護師はもちろん、理学療法、作業療法、言語療法などのリハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、ケースワーカー、臨床工学技士、臨床検査技師、歯科衛生士、クラークといった多職種が病棟に配属され、マンパワーの溢れた病棟で豊かなチーム医療を展開して医療の質や生活の質を向上させ、いかに早く「満足して」自宅に帰っていただくかが求められています。

そのためにも医師、看護師をはじめとして多職種のマンパワーを充実させることと、スタッフ一人ひとりの質の向上をさらに図っていくことが重要です。ハードと共にソフト面も充実させ、夢と使命感をもって、新たな時代を皆さんとともに乗り越えていきたいと願っています。

これからは、これまで以上に開かれた病院運営を心がけ、枠にとらわれない自由な民間病院の活力を忘れることなく、常に時代のニーズをとらえ、地域になくてはならない病院としてあり続ける努力が求められています。

「写真にできること。」

総務部長 高塚孝一



ブルックリンにて



“晩秋のセントラルパーク”(ニューヨーク)

学生時代から趣味として写真を撮っています。風景写真が中心ですが最近ではモノクロで抽象的なテーマで写真を撮っています。これまで個展を3回、カメラ雑誌の月例コンテスト等にも何度か入賞しました。写真は“癒しのアート”です。医療分野でもフォトセラピーという写真を使った治療法があります。当病院でも患者様の癒しになるような写真展示を考えています。

関連施設の紹介

医療法人
祐生会

みどりヶ丘訪問看護ステーション サテライト柱本	高槻市西真上1丁目35番17号 高槻市柱本1丁目1番8号	TEL072-681-5605 TEL072-668-5522
みどりヶ丘ホームヘルパーステーション	高槻市西真上1丁目35番17号	TEL072-681-7099
みどりヶ丘ケアプランセンター	高槻市緑が丘1丁目6番2号	TEL072-681-5794
みどりヶ丘ケアプランセンターつかはら	高槻市塚原4丁目7番1号	TEL072-697-0037
みどりヶ丘介護老人保健施設	高槻市奈佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3111
グループホームみどりヶ丘荘	高槻市奈佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3287
みどりヶ丘デイサービスセンター川西	高槻市川西町1丁目33番12号	TEL072-686-3451

社会福祉法人
みどりヶ丘会

グリーン特別養護老人ホーム	高槻市奈佐原4丁目7番15号	TEL072-690-3331
グリーンケアハウス	高槻市奈佐原4丁目7番3号	TEL072-690-3561

編集後記

広報委員会より

今回も職員全員の協力で、無事に第2号を発行する事ができました。前回の創刊号から6ヶ月が経ち、その間には自然災害や政治・経済問題など様々な事が起こっています。こういう時こそ、思いやりの気持ちが人と人をつなぎ、乗り越えていく力になると思います。第3号の発行も職員一丸となって頑張ります。